

# 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膵管ガイドワイヤー法による ERCP 後膵炎の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2021年4月から2023年11月まで昭和大学病院にて膵管ガイドワイヤー法にてERCPを行った患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> ERCPの胆管挿管困難例において膵管ガイドワイヤー留置法は大変有用であります。ERCP後膵炎の合併症のリスクが一般的に高いとされます。そこで、膵管ガイドワイヤー法でERCPを行った際の急性膵炎の合併症を出来るだけ避けるための研究です。処置時間や術者年数、膵管ガイドワイヤー留置時間等について検討します。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> ERCP施行の日付、患者年齢、既往歴、治療疾患、ERCP後膵炎の有無、ERCP後膵炎のCT grade、処置時間、胆管挿管時間、膵管ガイド留置時間、乳頭切開の有無、胆管ステント留置の有無、術者年数。
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。
<b>6. 研究組織</b> 研究責任者 昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門 及川 脩

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門 氏名：及川脩

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8535